

現代茶陶展 のあゆみ



なにか

現代茶陶
とは

2021 2/27_土 → 6/20_日

土岐市美濃陶磁歴史館

TOKI CITY HISTORICAL MUSEUM OF MINO CERAMICS

同時開催

重要文化財公開

元屋敷
陶器窯跡
出土品展



【開館時間】 午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

【入館料】 [一般]200円(150円) [大学生]100円(70円) [高校生以下]無料
障がい者手帳をお持ちの方および介助者1名まで [一般]100円 [大学生]50円
*()内は20名以上の団体料金

【休館日】 月曜日、祝日の翌日

企画：公益財団法人 土岐市文化振興事業団

【写真】上 第12回大賞《Like a Rolling Stone -Tsukechi Valley-》沼尻真一

第13回大賞《剛き目水指》松永 慶 / 第10回大賞《灰袖茶碗》金子充義 / 第8回大賞《銀泥彩磁かいわれ文向付》井戸川 豊

第1回大賞《水指》加藤洋二 / 第4回大賞《備前水指》奥本丸味

左下 黒織部茶碗 元屋敷窯跡出土・17世紀初・重要文化財

〒509-5142 岐阜県土岐市泉町久尻1263 TEL.0572-55-1245

土岐市文化振興事業団ホームページ <http://www.toki-bunka.or.jp/history>

現代茶陶展のあゆみ

〔出品作家〕

安藤千都勢

井戸川豊

岩佐昌昭

大野耕太郎

奥本丸味

加藤洋二

金子充義

岸田怜

黒岩達大

五味謙二

鈴木卓

高橋朋子

高橋奈己

田中孝

田中豊

中井和仁

中村裕

西田宣生

沼尻真一

根崎隆博

林友加

細川令子

松永慶

山本二郎

和田的



それぞれの答え

2020年の開催で13回を数えた「現代茶陶展」は、茶の湯で用いる陶磁器いわゆる茶陶をテーマとした土岐市主催の公募展です。およそ400年前、新たな茶の湯の価値観のもとに生み出された新しい茶陶志野や織部を産した歴史と伝統を礎に、現代の茶の湯のための器を全国から広く募集し、現代における茶陶の在り様を問い続けてきました。1995年から5年ごとに開催され、第5回の2012年以降は2020年まで毎年開催されてきた現代茶陶展ですが、2021年、コロナ禍において第14回の開催延期が決定されました。そこで、本展では第14回の開催を待つ中、歴代の大賞作品を中心にこれまでのあゆみを振り返るとともに、現代の茶陶を再考する機会としたいと思います。



〔歴代大賞作品〕
上：第2回《黄瓷水指》大野耕太郎／第3回《黒い香合》鈴木卓／第5回《輪彩紋水指》田中豊
中：第6回《碧の器》西田宣生／第7回《ふた、モノ。》五味謙二 下：第9回《白器水指「表裏」》和田的／第11回《白磁水指》高橋奈己

同時開催

重要文化財公開

元屋敷

陶器窯跡 出土品展

茶陶の価値観を変えた
桃山時代の美濃焼



志野織部向付



青織部向付



織部黒茶碗

*いずれも元屋敷窯跡出土・17世紀初・重要文化財

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により予定を変更する場合がございます。最新情報は当館ウェブサイトにてご確認ください。

土岐市美濃陶磁歴史館

TOKI CITY HISTORICAL MUSEUM OF MINO CERAMICS

〒509-5142 岐阜県土岐市泉町久尻1263 土岐市文化振興事業団ホームページ
TEL.0572-55-1245 FAX.0572-55-1246 <http://www.toki-bunka.or.jp/history>

【鉄道】名古屋駅からJR中央本線「土岐市駅」下車 徒歩約10分 【自動車】●中央自動車道「土岐IC」から約7分
●東海環状自動車道「五斗蔭スマートIC」から約5分 ●東海環状自動車道「土岐南多治見IC」から約10分

交通のご案内

